

開館50周年特設ホームページ「わたしの50年」 募集要項

「なつかしの郷土館・ふるさとの思い出 写真・エピソード 大募集！！」

青森県立郷土館は、令和5年9月20日に開館50周年を迎えます。県民のみなさまと歩んできた50年のあゆみを振り返るにあたり、当館や「ふるさと青森」にまつわる写真や思い出を募集します。

みなさまが初めて郷土館を訪れた時の心踊るエピソードや記念写真、家族揃って観覧した特別展の思い出、解説員や学芸員との語らいなど、郷土館にまつわる思い出やお写真なら何でも結構です。

また、県内の観光地へのご旅行や、お正月やお盆の風景、農作業の思い出など、この50年の間でみなさまの心に残る「ふるさと青森」のエピソードや写真をお寄せ下さい。応募いただいたエピソードや写真は、「50周年特設ホームページ」に掲載いたします。

1 募集内容

- (1) ①郷土館にまつわる写真やエピソード(400字以内)
②「ふるさと青森」にまつわる写真やエピソード(400字以内)
- (2) ペンネーム、生まれた年、現在の居住地、連絡先（住所、電話番号またはEメールアドレスなど、当館からの連絡が可能なもの）
※連絡先は公開しません。いただいた個人情報は厳重に管理します。
- (3) 写真については、撮影年、撮影場所（わかる範囲で結構です）

2 応募方法

郵送、当館代表メール、及びTwitterのダイレクトメッセージによる投稿

※郵送による応募で、写真の返却を希望される場合はその旨記入し、切手を貼った返信用封筒を同封して下さい。

※御応募をもって、文章や写真の使用と公開について御承諾いただいたものとしてします。

※御応募は、掲載を確約するものではありません。また、明らかに諸々の権利(著作権、肖像権等)を侵害すると判断される写真や文章は、公開いたしません。

※応募内容の公開によって生じたトラブルについて、当館は責を負いません。

※特に写真について、郵送の際に生じた不着や破損等の問題については、当館は責を負いません。大切なお写真の原版を郵送される場合には、十分な梱包と養生のうえ、配達記録のある方法でお送りください。

3 応募受付期間

令和5年7月3日（月）～令和6年3月29日（金）必着

4 応募先

- (1) **郵送**の場合
〒030-0802 青森市本町2丁目8-14
青森県立郷土館 学芸課「50周年」係
- (2) **メール**の場合
E-KYODOKAN@pref.aomori.lg.jp
- (3) **Twitter(ダイレクトメッセージ限定)**の場合
郷土館Twitter公式アカウント @aomori_kyodokan

不明な点がございましたら、青森県立郷土館(電話017-777-1585「50周年写真・エピソード係」)までお問い合わせください。

投稿みほん(様式は自由です)

タイトル:「家族で来た郷土館」

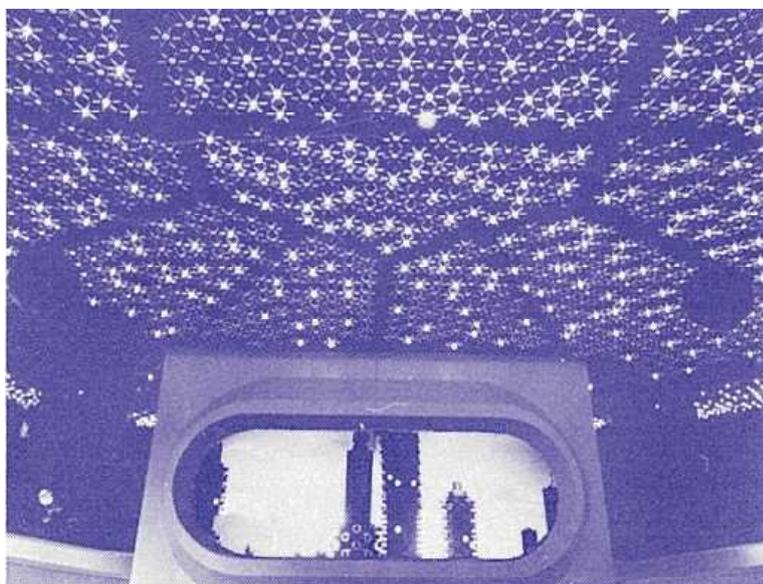
本文:

昭和50年ころ、小学生時代に家族と郷土館に行きました。自然や歴史のコーナーの展示品を、ドキドキしながら見て回った思い出があります。

戦前生まれの両親は、足踏み脱穀機や赤ちゃんを入れる「エンツコ？」を指さしながら、「こったの、おら家さもあつたじゃ。」と話が弾んでいました。

終盤で「未来の青森」を紹介する映像コーナーがあり、高層の居住スペースが映っていて、ふるさとがこんな風に発展できたらいいなあと期待しました。

県立郷土館が開館50年を迎えるとのこと。この先100年後も150年後も活気あふれる「ふるさと青森」であってほしいと思っています。



青森の未来の姿にワクワクしました

ペンネーム: 例) ホワイト

生年: 例) 昭和39年 ※公開時は、年代で表記します 例) 50代

現在の居住地: 例) 青森市

連絡先(住所、電話、メールのうち、いずれか1つ以上) ※公開しません

例) 〒030-0802 青森市本町二丁目8-14 マンションMUSE

例) 017-777-1585

例) aomori-kyodokan@pref.aomori.ne.jp

※写真を投稿される場合

撮影年: 例) 昭和50年ころ?

撮影場所: 例) 郷土館内のどこかだったと思います

博物館コメント例（みなさんの投稿に対して、後日、学芸員がメッセージを添えて掲載します）

心温まるエピソードとメッセージありがとうございます。当館は現在休館中ですが、リニューアルに向けて準備を進めています。「ふるさと青森」の魅力を後世に伝え、新しい時代を切り拓くための学びと交流の場として、50年を機により一層努めてまいります。再開後はぜひ、ご家族でお越し下さい。

学芸課 50周年HP担当・M